

H. P. R e p o r t

第36号

発行責任者 稲崎義明

これからのブロードバンド（2）

これまで放送と通信（データ）とは別のものであり、通信は目的をもって必要なときにデータをやり取りするものであり、放送はいわば一方的に情報を提供されるものでした。放送の中身は、音声や映像のアナログデータが中心で、どちらかといえばリアルタイムな情報を提供するものでした。

そのような中で長い間行われてきた放送に変革をもたらせようとしたものがデジタル放送です。放送内容をデジタル化することは、通常の放送内容のほかにデータを多重化して送ることができるため、映像の配信、ゲーム配信、生活情報の提供、電子商取引などのサービスを実現することができます。現在BSデジタル放送が行われていますが、その放送波に乗せて天気予報やニュースなどが常時送信されています。また、電話回線を受信機に接続することによってリモコンを使った視聴者参加番組もいろいろと行われているようです。BSデジタル放送は3ヵ年で1000万世帯普及を目標にしていますが、実際はなかなか難しいようです。他に通信衛星を使ったCSデジタル放送もありますが、こちらは多チャンネルを目玉としているようです。

その次に来るのが地上波のデジタル放送で、現在の放送を数年後にはすべてをデジタル化する予定となっています。デジタル化ということは衛星放送でもわかるように、同一の周波数帯の中でいろいろな情報や多チャンネル化に対応しようとするもので、実際地方の放送局にとってはそのすべての時間帯、チャンネル枠にすべてスポンサーがつくとは限らないもの（すでにラジオ放送の場合は現在でも時間帯によってはスポンサー無しでの放送がなされている状態です）であり、放送局の経営を圧迫する可能性がないとは限りません。そのような状況であっても各放送局はデジタル化に対応する必要があります（アナログのこれまでの受像機がなくなるのですから）。

デジタル放送がBSデジタルの放送開始時のようなお祭り騒ぎが過ぎ、なかなかBSデジタルの普及が進まないことがわかってきたとき、一方でブロードバンドネットワークの普及が急激に進んでくるようになってきました。これまでのネットワークでは十分な情報が送れなかったものが、数百kから1.5M以上へと高速化することと、常時接続、一定料金が一般化することによって、個人でも簡単に画像、映像などがインターネット上で取り扱われるようになってきました。そうするとこれまで放送が行っていたような画像、映像データの送信が、インターネットでも可能となりつつあります。これまで放送をデジタル化することによって提供しようとしてきたサービスの大半が、ブロードバンドを使ったネットワークでも提供できるようになってきました。ここまで低価格で高速な通信回線が一気に普及するとは少し前までは誰も考えていなかったのか、これまで進められてきた放送のデジタル化が行き詰まりを見せるようになり、いよいよ放送とブロードバンドの区別がなくなってきました。そのような中で映像配信ビジネスへの挑戦が活発になってきています。これまでの地上波の放送局までがこれまでの放送デジタル化の危機と捉えながらも、一方では新たなビジネスチャンスとしてブロードバンドへの取り組みを本格化させています。また、これまでは映画の予告編などの時間の短い映像コンテンツが多かったものが、CSデジタル放送の一部をブロードバンドで流したり、ラジオ放送をリアルタイムで流したり、2002年にはアメリカの大手映画会社が、アメリカ国内でVOD（ビデオ・オン・デマンド）事業に進出を予定しているなど、その情報の中身はより放送に近く変化しつつあります。

(連載終了)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 10月22日号

特集 今そこに燃料電池

→電池自動車専用と思われそうな燃料電池。2005年には携帯機器に載り始める。電池といっても燃料を充填すれば再生する発電機。現在のLiイオン2次電池が取って替わる。燃料はコンビニでどこでも入手することができるようになる。

解説 それでもMPEG4が激戦を制す

→インターネットや移動通信などあらゆるネットワークに対応するべく規格化された「MPEG4」。実際はそれぞれの機器に特化した独自方式が幅を利かせている。その中で標準規格としてのMPEG4がようやく各社が採用することによって反撃を開始した。

○日経パソコン 10月29日号

特集 こだわりの周辺機器選び

→パソコンも安くなったが、周辺機器も格段に安くなっている。値段だけではどれがいいのか分からない。知っておきたいそれぞれの周辺機器の基本を押さえた上で、ポイントを紹介。

レポート 書き込み型DVDの買い方

→書き込み型DVDには現在DVD-RW、DVD-RAM/R、DVD-RAM、DVD+RWの4種類がある。中にはCD-R/RWに書き込みができないものもあり、価格だけでは選べない。使う機能と使わない機能を見極めて賢く選ぶ必要がある。

○日経バイト 11月号

特集 ブロードバンドのへき地をなくす

→一気に普及し始めたブロードバンドインターネット。CATV、ADSK、無線、光ファイバーといろいろあるが、ブロードバンドを利用できる人とできない人の差が顕著になってきている。ブロードバンドのへき地をなくすにはどうすれば良いのか。

特集 セキュリティスタジアム2001

→WORLD PC EXPO2001で行われたイベント「セキュリティスタジアム2001」をその公開競技の内容を説明すると共に、その結果から導き出された教訓をシリコン後のセキュリティ対策に役立てる。

○日経ネットビジネス 10月25日号

特集 ネット調達でコスト削減

→不況を乗り切るためのコスト削減。小手先の経費や人員削減だけでは根本的解決にはならない。ネット調達で、競争入札、逆オークションを利用して徹底的に無駄を排除する。

○N+I MAGAZINE 11月号

特集 VoIP最新事情

→音声とデータを統合するVoIPは企業内への普及が急速に進んでいる。本支店間をWANで接続することによって構内電話が使えるようになるが、その最新テクノロジーと音質、サービスを理解する。

特集 帯域制御徹底理解

→高速常時接続環境が増える中において、企業内においては同じネットワーク上にWebの検索やファイル転送、業務プログラム処理に必要なデータ転送などが載ってくることになる。そのままでは無秩序に回線が使われることになり、大事なものに悪影響を及ぼすことも考えられる。処理データに優先をつけてスムーズな環境を作ろうとするのが帯域制御となる。

特集 Windows XPを検証する

→新しいOSであるWindows XPはネットワークにどのように対応してるのか。その機能と実力を検証する。

○ASCII 11月号

特集 全ファイル解説でわかるWindows XP!

→パッケージの発売11月16日。10月25日からプリインストール版が発売となるWindows XP。インストールの仕方からこれまで使っていたプログラムの対応、インターネットエクスプローラををれいにコンポーネントの共有について解説。

特集 自作の新機軸

→Pentium4が2GHzとなり、対抗するAMDがAthlonXPを出した。これからの自作時の決め手は。

特集 ブロードバンド最深情報!

→今月はADSL、FTTHで速度が出ないときにどう対処するか。スピードアップを行った状況を原因を含めて紹介。

○DOS/Vmagazine 11月1日号

特集 逆襲のAthlonXP

→Pentium4の対抗としたAMDが発表したAthlonXP。動作周波数で性能を判断していたものがモデルナンバーの表記となった。モデルナンバーは本物か。XPで採用された新アーキテクチャを含めて徹底検証。

特集 USB2.0デバイス完全攻略

→Windows XPでマイクロソフトからドライバが提供されるUSB2.0。インターフェースカードと周辺機器を紹介。

○DOS/Vmagazine 11月15日号

特集 総力特集Windows XP全貌解明

→Windows XPは買いか。マイクロソフト、ベンダーの対応状況やアプリケーションの動作状況など、自作派必見の最新情報。

特集 機能特化型超絶セカンドマシンをつくる!

→どれだけ速くなくても時間のかかる処理の重い作業はある。マシンのスピードアップよりセカンドマシンをつくるのが手っ取り早い。CD-R用、動画のエンコード用、テレビ録画用などの専用マシンの作り方。